

## 還元主義とホーリズムの方法手順

事象を、

$$A \prec a \prec \alpha$$

とする。

記号：組合せ(≡)、順序(≡)、結合(⊕)、包含(≺)、等値(≡)

### 還元主義の方法手順

1. a を分析して、

$$a \equiv \alpha_1 \oplus \alpha_2 \cdots \oplus \alpha_n$$

となるような  $\alpha_1, \alpha_2 \cdots \alpha_n$  を析出する。

その中には結合(⊕)だけではなく、組合せ(≡)、順序(≡)、包含(≺)が入っていてもよい。

2. 論理と事象の両面から探索する。

### ホーリズムの方法手順

1. a を分析して、

$$a \equiv a_1 \oplus a_2 \cdots \oplus a_n$$

となる  $a_1, a_2 \cdots a_n$  を探す。

その中には結合(⊕)だけではなく、組合せ(≡)、順序(≡)、包含(≺)が入っていてもよい。

2.  $a_1, a_2 \cdots a_n$  に共通する特性をカバーする A を探す。

3. 論理と事象の両面から探索する。

4. A を確定するのはアブダクション (abduction) による。

アブダクション

ステップ 1 :  $a_1, a_2 \cdots a_n$  を調べて A の候補をあげていく。

ステップ 2 : その中から、単純さ、整合性 (既存の知識と矛盾しない)、テスト可能性又は予測能力、包括性のあるものを選ぶ。